平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場会社名　株式会社 デジタルアドベンチャー　　上場取引所　大
コード番号　4772　URL　http://www.digiadv.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 矢島　重比古
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長　(氏名) 大山　智子　TEL 03-6809-6118

四半期報告書提出予定日　平成24年11月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	3,182	―	33	―	59	―	40	―
23年12月期第3四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

(注)包括利益　24年12月期第3四半期　42百万円　(―%)　23年12月期第3四半期　―百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	0.74	―
23年12月期第3四半期	―	―

平成23年12月期は、決算期変更により9ヶ月決算となっております。これに伴い、平成23年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、平成23年12月期第3四半期の連結経営成績および平成24年12月期対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第3四半期	3,164	2,550	76.9	44.79
23年12月期	3,303	2,494	72.4	44.01

(参考) 自己資本　24年12月期第3四半期　2,432百万円　23年12月期　2,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年12月期	―	0.00	―		
24年12月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年 1月 1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,100	―	5	―	35	―	15	―	0.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有
平成23年12月期は、決算期変更により9ヶ月の変則決算となっておりますので、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	54,392,638 株	23年12月期	54,392,638 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	78,876 株	23年12月期	77,829 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	54,314,190 株	23年12月期3Q	― 株

平成23年12月期は、決算期変更により9ヵ月決算となっております。これに伴い、平成23年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、平成23年12月期第3四半期の期中平均株式数については記載しておりません。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信[添付資料]3ページ1．当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（５）セグメント情報等 …… 7
（６）重要な後発事象 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当社は、前連結会計年度より決算期を３月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、第41期第３四半期報告書は作成していないため、前年同四半期との比較については記載しておりません。

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要等により、景気が緩やかに持ち直しているものの、欧米諸国の財政不安や景気の低迷、長期化する円高、新興国経済の減速、また外交問題などもあり、依然として先行きは不透明な状況となっております。

このような経営環境の中、当社グループは前連結会計年度にグループ事業再編を実施したことで、当社はマネジメントを中心としたエンターテインメントに事業集中し、イベント・ライブ開催、ＣＤ・ＤＶＤのリリース、ＣＭ出演および関連商品販売等に引き続き注力しております。当第３四半期連結会計期間においては売上高は順調に推移しておりますが、子会社に集約されたデジタルコンテンツ配信における既存サイトの売上減少傾向は、下げ止まりつつあるものの厳しい状況が続いております。

一方、利益面については　ＤＡＴＶでの大型ドラマコンテンツ投入等によるコスト増により利益を確保できず減益となっております。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は31億82百万円、営業利益33百万円、経常利益59百万円、四半期純利益40百万円となっております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（デジタルコンテンツ配信事業）

前連結会計年度に子会社に事業が集約され、各子会社は当該事業にリソースを集中しております。スマートフォン市場の急速な拡大に対応し、既存サイトのスマートフォンでの配信を順次開始し、会員は戻り始めておりますが、売上減少は下げ止まりつあるもののの引き続き厳しい状況は続いております。

利益面では、外注費の見直しを図るなどコスト削減に努め、この結果、売上高は５億60百万円、セグメント利益は57百万円となっております。

（物販事業）

所属アーティストのＣＤ・ＤＶＤ、イベントグッズおよび関連グッズの販売が好調であったことにより、この結果、売上高は８億85百万円、セグメント利益は１億47百万円となっております。

（ライツ＆メディアコミュニケーション事業）

７月に所属アーティストであるキム・ヒョンジュンのセカンドシングル「HEAT」発売に合わせて、リリースイベントおよびナオト・インティライミとの共演で「DOUBLE FANTASISTA」を開催、８月に大国男児の6thシングル「本気Magic」リリースイベントやSUMMER LIVE開催などを実施しております。また、日韓共同アイドル発掘プロジェクト番組「シャッフルオーディション Idol Made」を韓国放送局MBCMUSICと共同制作を開始するなど、新規事業へも投資をしております。

さらに、自社テレビ局ＤＡＴＶにおいては「絶対 韓美男（イケメン）！DATV 絶対観たくなる 12 大ニュース」と題し、「グッバイマヌル（リュウ・シウォン主演）」「パンダさんとハリネズミ（原題）（SUPER JUNIOR ドンヘ主演）を始めとした話題作を投入し、会員獲得のためのプロモーションを展開、10月から「J:COM TV」のオプションチャンネルとして J:COM の全エリアで提供しております。

利益面では、自社テレビ局ＤＡＴＶへの大型ドラマコンテンツ投入および新規事業の先行投資等によりコストが増加しており、この結果、売上高は14億70百万円、セグメント損失は１億41百万円となっております。

（その他事業）

８月に飲食部門において店舗を全て事業譲渡し同部門から撤退しております。また、子会社の株式会社ザ・ネット・プランが５月に薬局事業を立ち上げ売上を伸ばしておりますが、新店舗立ち上げ時の初期コストが吸収できず、この結果、売上高は２億66百万円、セグメント損失は30百万円となっております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における資産は、31億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億39百円減少しました。この主な要因は、現金及び預金が14億56百万円減少、受取手形及び売掛金が１億85百万円減少、商品が69百万円増加、前渡金が９億97百万円増加および投資有価証券が５億１百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債は、６億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億95百万円減少しました。この主な要因は、流動負債のその他が１億89百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は25億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金が40百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

（個別業績予想）

ライツ＆メディアコミュニケーション事業において、自社テレビ局ＤＡＴＶのＪ：ＣＯＭ加入が予定より遅れたこと、プロモーションコストが嵩むこと、また大型ドラマコンテンツ先行投資により引き続き原価の増加が見込まれることから、前回の予想値を修正するものであります。

（連結業績予想）

個別業績予想における要因に加え、連結子会社においてデジタルコンテンツ配信事業において既存サイトの売上高減少が予想を上回ったこと、並びにスマートフォン化に伴う原価の増加が見込まれること、またその他事業において新規事業の薬局事業が立上げ期につき初期費用が嵩むことが見込まれることから、前回の予想値を修正するものであります。

平成24年２月14日の決算短信で公表しました平成24年12月期通期連結業績予想との差異は、以下のとおりであります。

（平成24年12月期通期連結業績予想）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	4,308	135	138	128	2.36
今回修正予想(B)	4,100	5	35	15	0.28
増減額（B-A）	△208	△130	△103	△113	
増減率（%）	△4.8	△96.3	△74.6	△88.3	
（参考）前期実績	3,960	94	67	△52	0.97

（注）当社は前連結会計年度より決算期を３月31日から12月31日に変更しております。このため（参考）前期実績は平成23年４月１日から平成23年12月31日までの９ヶ月間となります。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,018,104	561,169
受取手形及び売掛金	531,011	345,610
コンテンツ	12,842	16,397
商品	3,671	73,342
仕掛コンテンツ	11,046	14,104
前渡金	179,771	1,177,565
その他	59,142	84,526
貸倒引当金	△4,816	△2,980
流動資産合計	2,810,774	2,269,735
固定資産		
有形固定資産	52,040	44,708
無形固定資産		
のれん	55,077	38,242
その他	75,140	64,073
無形固定資産合計	130,217	102,316
投資その他の資産		
投資有価証券	131,307	633,280
その他	223,061	158,320
貸倒引当金	△44,404	△44,345
投資その他の資産合計	309,963	747,254
固定資産合計	492,221	894,279
繰延資産	27	－
資産合計	3,303,023	3,164,015
負債の部		
流動負債		
買掛金	391,007	372,046
未払法人税等	－	6,080
その他の引当金	6,202	6,413
その他	407,736	218,047
流動負債合計	804,945	602,587
固定負債	3,147	10,461
負債合計	808,093	613,049
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,999,492	3,999,492
利益剰余金	△1,576,691	△1,536,500
自己株式	△32,348	△32,770
株主資本合計	2,390,452	2,430,220
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	－	2,252
その他の包括利益累計額合計	－	2,252
新株予約権	104,478	118,492
純資産合計	2,494,930	2,550,966
負債純資産合計	3,303,023	3,164,015

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	3,182,493
売上原価	2,462,601
売上総利益	719,892
販売費及び一般管理費	686,645
営業利益	33,247
営業外収益	
受取利息	3,370
為替差益	9,429
持分法による投資利益	12,673
その他	1,190
営業外収益合計	26,664
営業外費用	
支払利息	62
その他	29
営業外費用合計	92
経常利益	59,818
特別利益	
新株予約権戻入益	1,301
特別利益合計	1,301
特別損失	
固定資産除却損	10,489
減損損失	4,626
その他	3,294
特別損失合計	18,410
税金等調整前四半期純利益	42,710
法人税、住民税及び事業税	4,159
法人税等調整額	△1,640
法人税等合計	2,519
少数株主損益調整前四半期純利益	40,190
四半期純利益	40,190

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	40,190
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	2,252
その他の包括利益合計	2,252
四半期包括利益	42,443
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	42,443

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
当第３四半期連結累計期間（自　平成24年１月１日　至　平成24年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	デジタルコンテンツ配信	物販	ライツ＆メディアコミュニケーション	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	560,506	885,525	1,470,237	2,916,269	266,224	3,182,493
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	1	1
計	560,506	885,525	1,470,237	2,916,269	266,226	3,182,495
セグメント利益又は損失（△）	57,239	147,840	△141,833	63,245	△30,914	32,331

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

	合計
報告セグメント計	63,245
「その他」の区分の損失（△）	△30,914
セグメント間取引消去	915
四半期連結損益計算書の営業利益	33,247

３．報告セグメントの変更等に関する事項

前第２四半期連結会計期間において、連結子会社でありました株式会社アルジーは、当社の保有株式の一部を売却し、連結の範囲から除外したことに伴い、第１四半期連結累計期間から通信・映像送出事業は報告セグメントとして記載する事業セグメントから除外しております。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（６）重要な後発事象
該当事項はありません。